

令和2年度 個別学力検査（後期日程）

情報学群

知識情報・図書館学類

## 小論文

試験時間 10:00 ～ 11:30

### 注意事項

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 受験番号、氏名を解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ この問題冊子は全部で3ページ（表紙を除く）です。
- ・ 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ 試験中に問題の脱落、解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を上げて監督員に知らせてください。
- ・ 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は各自持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問1から問4に答えなさい。

#### 読者の権利

「読者の権利」とは、読者が読書を通じて得る利益を保障する権利である。読者は、読書を通じて知識を得る権利、読書を通じて娯楽を得る権利、読書を通じて自己表現の機会を得る権利などがある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。

読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。

読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。

読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。

#### 読者の権利

##### 読者の権利

読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。読者は、読書を通じて得る利益を保障する権利を行使する権利がある。

（以下、本文の大半は、このように、極めて曖昧で、読者の想像を掻き立てるような表現で書かれている。この点、吉見俊哉『大学とは何か』岩波新書（新赤版）1318、岩波書店、2015年10月15日第7刷、1～2頁および16～19頁から抜粋し、一部変更して引用。）

出典：吉見俊哉『大学とは何か』岩波新書（新赤版）1318，岩波書店，2015年10月15日第7刷，1～2頁および16～19頁から抜粋し，一部変更して引用。

問 1 下線①「メディアとしての大学」とはどのようなことを意味するか。100 字以内で説明しなさい。

問 2 下線②「印刷革命によって生じた新たな状況」とはどのようなものか。100 字以内で説明しなさい。

問 3 なぜデジタル文化では「冊子体としての書物とそこに書き込まれる知識は分離し、後者は文字通りユビキタス化しつつある」(下線③)のか。200 字以内で説明しなさい。

問 4 下線④「この一六世紀的な地平とは異なる新たなメディアと知識の関係に、二一世紀の大学は果たしてうまく対応していくことができるだろうか。」に関連して、大学がどのような存在であるべきかについて、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

なお、これらの問題は、論理的思考力、表現力、独創性、広い視野からの発想を評価するもので、個人の思想・信条・宗教などを問うものではありません。